

## 平成29年度 学校評価一覧

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開						
今年度の重点		教育目標：豊かな人間性を育み、たくましく生き抜いていこうとする生徒の育成 重点目標：良さを認め合いながら、一歩前に出て活動できる生徒の育成				
学校教育実施	学校評価項目	シート担当	自己評価A(前期)	学校関係者評価(前期)	学校評価項目別のコメント	
人間的基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	I 組織運営	「挑戦」、「伝統」、「誇り」をキーワードに特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	教頭	おおむね良好	おおむね良好	週1回の学年主任会の開催により、学年間の連携や生徒指導が円滑に機能している。学級担任と副担任との連携した指導を今後も継続してほしい。
	II 教師の研修	学校の教育活動のレベルアップのために、教職員の研修が活発に行われている。	研究主任	おおむね良好	おおむね良好	相互の授業参観を実施することにより、北陽中学校の授業スタイルが確立している。「できた」「わかった」を実感させる授業への取組を追究し、ステップアップを図ってほしい。
	III 特色ある教育活動	地域に根ざした特色ある教育活動に、誇りと気概をもって取り組んでいる。	教務主任	おおむね良好	おおむね良好	開校3年目を迎え、北陽中学校の特色が確立してきていると感じる。後期は2年生がリーダーとして、行事等での達成感を高めてくれることを期待したい。
	IV 主体的な学習態度・確かな学力	生徒が主体的に授業に臨み、基本的学習習慣と確かな学力を身に付けるように取り組んでいる。	学習指導部長	おおむね良好	おおむね良好	学習態度については、生徒と教員の評価のポイントがほぼ合致し、また、生徒の「授業の充実」に対する評価が非常に高く、学習にしっかりと向き合っていることが伺える。課題の克服に向けた後期の取組に期待したい。
	V 自主的・自律的な生活習慣	生徒一人一人の心身の状態に目を向けながら、明るく心のこもった挨拶など規律ある落ち着いた生活を実現している。	生徒指導部長	おおむね良好	おおむね良好	教職員の評価が昨年度より上がり、生徒の生活の状況が昨年度より落ち着いていることがわかる。メディアコントロールの問題は本校のみの課題ではないと感じるが、生徒の自主的な活動を促すなど、自己管理能力の向上を図ってほしい。
	VI 思いやりの心、たくましい心	一歩前に出て積極的に活動に取り組み、お互いの良さを認め合い、協力し合うことができる。豊かな人間性を育てている。	特活指導部長	良好	良好	生徒同士がお互いを認め合いながら協力し、自主的に行事に参加し、高め合おうとする意識が高い。様々な活動を通して、生徒は自分の成長を感じてきている。活動の全体の様子をしっかりと捉えながら、個々の育ちへの支援を継続してほしい。
	VII 保護者・地域との連携	保護者地域との信頼関係を積極的に構築するとともに、具体的連携の基礎を築いている。	教頭・特活指導部長	おおむね良好	おおむね良好	防災活動に関しては、保育所や小学校との連携が図られ、地域の行事等に中学生が参加する姿が多く見られる。学校だよりや学年だよりを活用して、活動の具体的な様子をさらに発信し、保護者や地域からの理解を一層深めてほしい。
<p>○集会で、生徒たちが積極的に発表しようとする姿が印象的だった。発表者を見守る視線、反応が温かく、お互いを認め合う雰囲気があった。</p> <p>○「誇り」をもって学校生活を送るという校長先生の経営方針が浸透していると感じられた。</p> <p>○生徒のヒアリングから、「リーダーシップがとれるようになった。」「発表や仕事の役割などに対して、一歩前へ出て活動できるようになった。」など自分の成長を実感する発言があった。また、様々な活動後には、友達と反省を言い合えるなどお互いを認め合いながら、高め合おうという意識も感じられた。</p> <p>○生徒のヒアリングから、先生に聞きに行けない人もいるので、グループ内でお互いに教え合って、分からないことを解決していけばよいという意見があった。学び合いの充実を求める意識が感じられた。</p> <p>○学校報については、生徒がないという地区もあり、全戸配布は大変だと思うが、学校の取組や生徒の活動の様子を伝える手段としては効果的である。</p> <p>○自転車通学に関しては、荷物が多く、カバンが重いため安全面が心配である。学校でも「置き勉」の許可などで対応を取っているようだが、引き続き安全面に配慮してほしい。</p> <p>○開校1年目のように保護者が呼びかけ合って、子どもたちのために環境を整えていくなどの活動があればよいかもしれない。</p>						